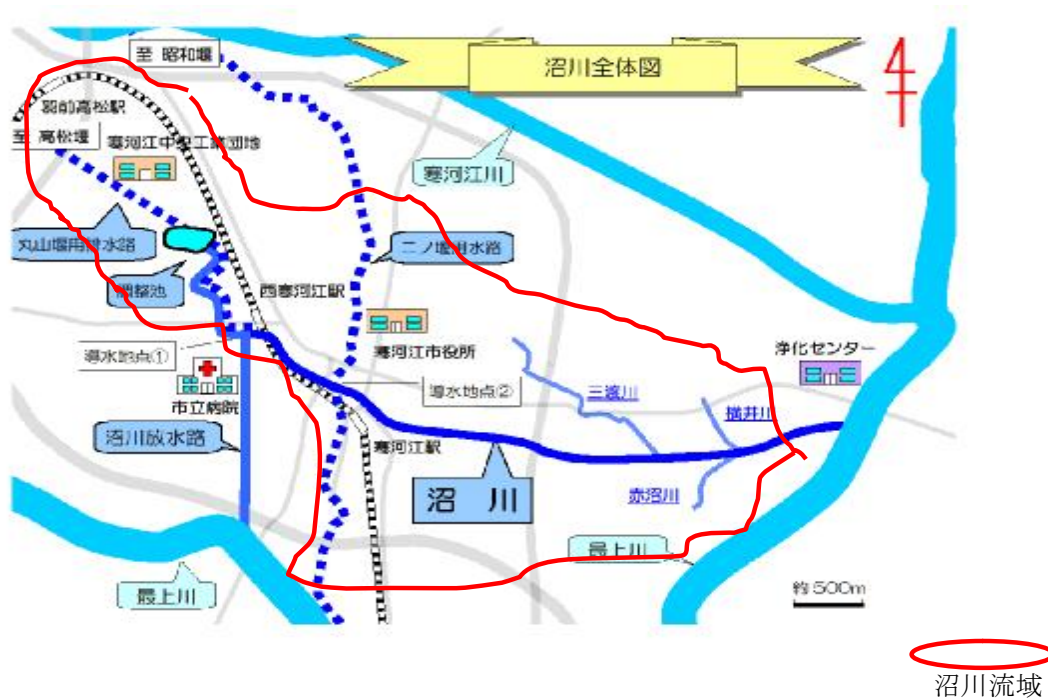


山形県村山総合支庁「沼川プロジェクト」の取り組みについて

村山総合支庁環境課 ○横山秀典（環境保全係）

これまで「水辺で遊びホタルや魚と触れ合う沼川を目指して」第1報及び第2報で報告したように沼川の水環境を改善するため、「沼川水環境改善連絡協議会」が中心に連絡・調整し各関係機関・団体が事業を推進している。平成22年度で県が主体となるプロジェクトとしての活動が終了したので、取り組み内容について報告する。



1 沼川の概要

寒河江市西部を源として、寒河江市街地を流下し、最上川に注ぐ流域面積約12K㎡、流路延長約5Kmの1級河川。上流域に寒河江中央工業団地が位置し、中流域は中心市街地、下流域は農業地域。「県内の汚れた川」ランキング2位が継続している。寒河江駅前周辺の沿線は県のふるさとの川整備事業や市の再開発事業により遊歩道や親水公園などの一部が整備されている。

2 水環境保全に向けた取り組み

・平成18年度

「沼川水環境改善連絡協議会」の設置（地域代表、国、県、市等）

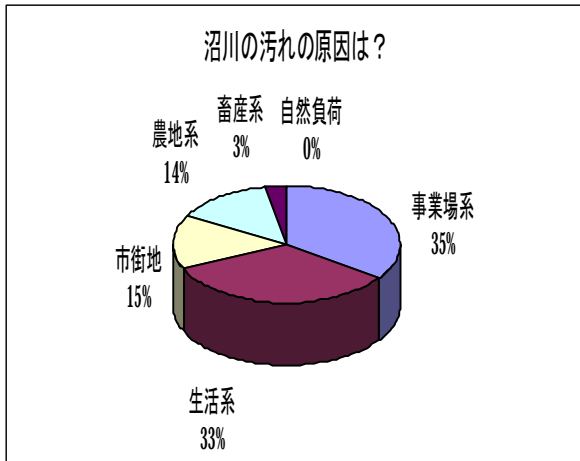
沼川の水環境の現況把握（流入支線・流域・水質等の確認、排出負荷量の算出、生物調査）

非かんがい期における寒河江川からの導水

・平成19年度

市民が望む沼川の将来像の把握（住民・民間団体・事業者・行政等有志によるワークショップの開催、セミナー・シンポジウムの開催（先駆的事例の紹介））

沼川の汚れの原因



沼川の汚れの原因

- ・ 事業場排水によるもの 3分の1
- ・ 生活排水によるもの 3分の1
- ・ 市街地、農業、畜産等によるもの 3分の1

出典：村山総合支庁環境課「沼川流域に係る水質調査及び背景調査報告書」

平成 20 年度～

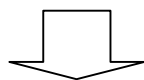
実現に向けた行動及び協働での実践活動

協議会組織の充実

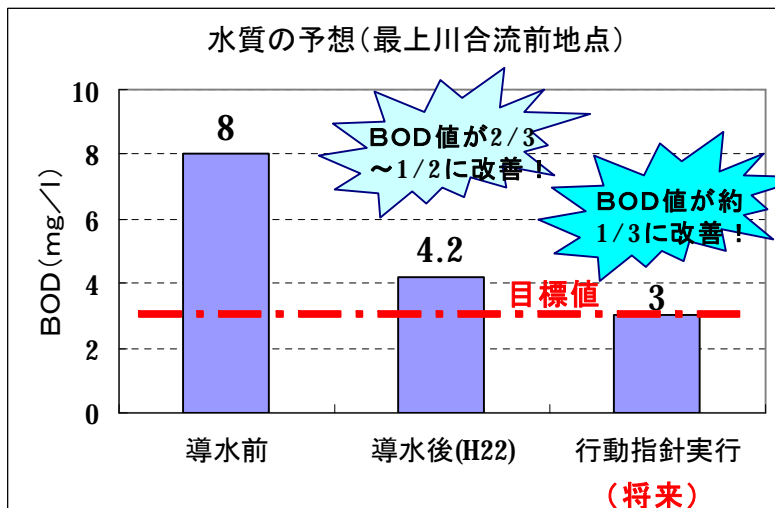
「沼川水環境改善行動指針」の策定（計画期間は平成 20 年度から 29 年度まで 10 年間）

目指す目標

- 水質目標（BOD が 3mg/l 以下）を満足すること
- 秋冬期でも、豊かな水の流れること
- ごみの不法投棄がゼロであり、川底がみえること
- 住民参加の行事が行われること
- ホタルやハヤなどの生き物等自然が再生されること
- 流域の住民等すべての人が行動指針を知っていること



水辺で遊び、ホタルや魚と触れ合う沼川



BOD値と棲んでいる魚の関係

BOD値 (mg/l)	棲んでいる魚
2以下	ヤマメ、イワナ
2～3	サケ、アユ
3～5	コイ、フナ
5以上	魚の生息に適さない

沼川水環境改善行動指針」に基づく行動

	地域が取り組む	地域と行政が共同して取り組む	行政が取り組む
清らかな流れを作ります	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭や事業場から出る水の汚れの削減 ○下水道接続の促進 ○排水路・道路側溝の清掃 	<ul style="list-style-type: none"> ○事業者対象のワークショップ(体験学習)の開催 ○水質浄化の研究と実践 	<ul style="list-style-type: none"> ○秋冬期の導水 ○事業場の排水診断 ○下水道接続の普及促進 ○堆積へどろの対策
美しい親水公園を作ります	<ul style="list-style-type: none"> ○美しい散策路づくり ○河川の清掃活動 	<ul style="list-style-type: none"> ○花の植栽活動 ○地域住民対象のワークショップ 	<ul style="list-style-type: none"> ○散策路・親水公園の整備 ○河川アダプト制度の啓発
自然と触れ合える川にします	<ul style="list-style-type: none"> ○ホテルの舞う沼川の再生活動 	<ul style="list-style-type: none"> ○イベントの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○生き物が棲める場所づくり
自主的な環境保全活動を活発化します	<ul style="list-style-type: none"> ○環境学習への参加 ○環境保全活動の企画と実践 	<ul style="list-style-type: none"> ○水質調査・沼川通信簿の実施 ○沼川の愛称募集 ○水環境保全活動の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○水環境保全活動の表彰

河川及び周辺環境の美化（ゴミ拾い、植栽等）

3 村山総合支庁環境課が市民等と協働で行った水環境改善活動 雨水調整池での水質浄化実証試験（H20年度～）

- ・ ヨシによる浄化
- ・ ヤクルト容器を使った微生物による浄化
- ・ 雨水調整池のヨシ・微生物による浄化の維持管理

沼川上流部での水質浄化実証試験（H21年度～）

- ・ 植栽イカダの設置
- ・ 沼川の直接エアレーション（H21）

沼川水環境保全活動を担う人材育成

- ・ 「沼川環境保全応援隊」の設立（H21）

流域の住民・市民・企業等が自ら水環境保全活動を継続して行うことが重要である。
ヨシの維持管理への参加、水質測定（水辺の健康診断）への参加、研修等の実施

4 今後の展開方針

県としてのプロジェクトは終了。「協議会」「応援隊」へのバックアップを継続する。
事業を通じて得た手法を「沼川モデル」として、管内の他河川の水環境保全地域活動推進事業に活用する。

平成23年度は倉津川（天童市）、大沢川（村山市）、楨川（河北町）で事業を実施している。

主な活動の実施状況写真



ヨシ植栽
平成21年7月2日
参加者数 80名
企業・NPO・市民団体等の数 29



ヤクルト容器設置
平成21年8月7日
参加者数 60名
企業・NPO・市民団体等の数 25



植栽イカダ設置



平成21年8月7日



倉津川環境保全研修会
平成23年7月20日



大沢川現地研修会
平成23年8月11日